

夏瀬の森

だより

令和元年八月二十五日 第八十四号
田殿丹生神社 宮司 嶋田博文

夏祭・花火大会

皆様のご奉賛の下
盛大に開催させて頂いていただきました



れる花火大会だと聞き、遠方から来
てくださった方が「花火の真下で子
どもたちの笑顔がはじけている。と
ても心が和むお祭りですね。」とお
話し下さいました。疲れが消えるひ
と言です。今年も草刈り、提灯つり
や交通警備等に汗をかくてくださり
た総代様や、前日の境内大清掃に始
まりジュースの販売に明るく大き
声で頑張っていました

さった敬神婦人
会の方々には大
変なご苦労をお
かけしました。
紀州煙火様にも
色々とお配慮い
ただきました。
湯浅警察をはじめ
め少年センター
や学校PTAに関
係の皆さま方に



夏祭り宵宮
奉納花火大会
を本年も七月
十日に開催さ
せていただきました
ことができた
梅雨の雨が心
配りでしたが、
皆さま方がお
力で無事に本
番を迎えられ
た。氏子さん
だけが氏子さん
だけで開催さ
れた。遠方から来

輪越し大被式

心身の穢れを除き 猛暑に向かう



七月三十一日の
夜、輪越し大被
式を行いました。
早朝から総代様
方が「ちがや」
を刈り、大きな
茅の輪を作り、
正面の大鳥居に
設置してください
ました。夜には
なり、参道には

提灯が吊られ、境
内ではお抹茶と夏
のお茶菓子で参拝
者をお迎えしまし
た。

夜八時からの大
被式では、宮司が
大被詞を奏上し、
今年も百名を超え
る参拝者が各自、
切麻(きりぬき)で
心身を清めました。

皆様からお預かりした人型(ひとが
た)は薦で包み、全員で茅の輪を8
の字に三度くぐった後に有田川に流
しました。神事の終了後、参拝者の
方々は茅の輪から草を抜き、各自小
さな輪を作って、悪疫や穢れを防ぐ
ために玄関や勝手
口、倉庫や車など
に掛けていきます。

総代様、敬神婦人
会の方々をはじめ
め、お抹茶の接待
をして下さった茶
道教室の皆さま方
に心より御礼申し
上げます。



御代替り奉祝祭

新しい令和の世を迎え、五月一日に月並祭に併せて踐祚改元奉告祭を、五月十一日には御代替り奉祝祭を執り行いました。県下各地から三十名の神職がお集まり、奉祝奉告祭の式典を執り行い、その後雅楽や神楽舞を奉納していただきました。また田殿丹生神社敬神婦人会の皆さんが会歌を、尾中の中学生の河口亜湖さんが師匠の岩崎利弘さんの笛に合わせて祭り囃子の太鼓を奉納してくださいました。新しい世を大勢の方と一緒に祝いすることができました。ありがとうございます。



秋のお祭りに向かって

・今年「一番字」は大谷区

令和最初の秋祭り。平成最初の年にも奉納してくださった大谷区が令和の始めも三面の奉納をしてください。運営や練習等、大変なご苦労がある中で様々な工夫をしながら、もうすでに七月末から稽古が始まり、猛暑と闘いながらも順調に歩んでくださっています。

・七年目の子ども達の笛太鼓

田殿小学校の三年生から六年生まで、あわせて四十三人の子どもたちが笛と太鼓の奉納に参加してください。練習は田殿小学校にて放課後に九月三日から始まります。今年も青木茂様(角)勝丸利和様(尾中)岩崎利弘様(尾中)の三名の方がご指導下さいます。ご期待下さい。

・弁天堂様奉納の餅投げ

長田の弁天堂様もつともしっかりと秋祭りが盛り上がるようにと今年も餅とお菓子をお奉納下さいます。心から御礼申し上げます。例年通り大谷の下の宮でお餅投げをさせていただきますので皆様大いにお楽しみ下さい。

七名の方が表彰を受けられました

六月十六日に田辺市の鬮鶏神社にて和歌山県敬神婦人連合会五十周年記念大会が開催され、当社から前会長、長瀬三木照子様、白樫順子様、中西久光江様の三名が表彰を受けられました。



また、八月二十四日には鮎茶屋にて有田郡市神社総代会が開催され、当社から責任役員の菅原光夫様、子ども笛太鼓指導者の青木茂様、勝丸利和様、岩崎利弘様が表彰を受けられました。皆様、おめでとうございませう。永年のご奉仕、心から御礼申し上げます。

HP・FBへもお越し下さい

ホームページ・フェイスブックに神事に関する事や様々な祈願、ご祈禱につきましても、遠慮なくお尋ね下さい。また、フェイスブックやホームページなどでも情報を随時発信しております。